

チームビルディングセミナー

2024年度 副理事長予定者
岡村 和樹
高子 景



Junior Chamber International Saitama Chuo
公益社団法人 埼玉中央青年会議所



目次

- ・ 自己紹介
- ・ チームビルディングとは？
- ・ 委員会運営において必要なこと
- ・ 経験談
- ・ まとめ

自己紹介（岡村和樹）

- 1987年 香川県産まれ こう見えてまだ36歳です
- 2015年 メットライフ生命入社
- 2016年 JC入会
- 2018年 副委員長 3月に委員長がいなくなる
- 2019年 初委員長
- 2020年 渉外委員会 委員長
- 2021年 議案審査会議 担当理事 日本青年会議所 総務委員会 VC
- 2022年 組織グループ 担当常任理事 日本青年会議所 日ロパートナーシップ委員会VC、APDC 開発担当役員
- 2023年 副理事長、APDC 開発担当役員
- 2024年 副理事長、日本青年会議所 JCブランディング会議 議長

自己紹介（高子景）

- 1987年 さいたま市生まれ
- 2013年 さいたま市議会議員選挙 初当選
- 2015年 埼玉中央青年会議所 入会
- 2020年 地域創造委員会 委員長
⇒最優秀事業賞 受賞
- 2021年 日本青年会議所 権限移譲促進委員会 委員
- 2022年 地域グループ 担当常任理事
⇒最優秀事業賞・最優秀例会賞 受賞
- 2023年 議案審査会議 副議長
- 2024年 副理事長予定者
日本青年会議所 国際アカデミー委員会 VC予定者

A top-down view of several hands of different people stacked together in a circle, symbolizing teamwork and collaboration. The hands are of various skin tones and are wearing different types of clothing, including sweaters, blouses, and a watch. The background is dark, making the hands stand out.

チームビルディングとは？

チームビルディングとは？

「チームビルディング (team building)」とは、チームの構成メンバーの一人ひとりが個性や能力を最大限に発揮し、それぞれの力を結集させることで一人では成しえない成果を生み出すチームを作ること。

チームビルディングの目的

- ・パフォーマンスの向上
- ・主体性を高める
- ・リーダーシップの醸成
- ・組織の一体感を醸成
- ・メンバー間の良好な関係を築く
- ・マインドセットを形成
- ・ビジョンの浸透

チームビルディングの「5段階プロセス」

形 成 期 : Forming

コンフリクト・マネジメント
の教育、受け皿機能の設置

混 乱 期 : Storming

水面下コンフリクトの
見える化

規 範 づ くり : Norming

行動指針(behavioral principles)
の共有と浸透

機 能 開 始 : Performing

組織全体のアライメント
とモニタリング

心理学者タックマンが唱えた組織進化モデル。形成期、混乱期、規範づくり、機能開始の4段階に分けられる。

1.形成期

新しいチームができたばかりの段階。メンバーはまだお互いのことをよくわかっておらず、チームとして目指すべき目標も明らかになっていない。探りあいながら相互理解を進めていく。

2.混乱期

メンバーがお互いについて知り、異なる意見がぶつかりあっている段階。自分と真逆の意見をもつメンバーと衝突する場合もある。議論を重ねながら、相互理解をさらに深めていく時期。

3.統一期

メンバー同士がそれぞれの個性を認めあい、チームとして協力できるようになる段階。混乱期で衝突した相手がいても、この段階になれば異なる価値観や意見を受け入れられるようになっている。

4.機能期

チームの各メンバーが能動的に行動を起こせる段階。リーダーが指示を出さなくても、メンバーは自分の役割を果たすために行動する。チームのメンバーと協力しながら、着実に成果を生み出せる。

5.散会期

チームの目標を達成し、チームとしての活動を終える段階。プロジェクトの終了やメンバーの異動がきっかけになる場合も。メンバーがチームの解散を残念に思っている場合、チームビルディングは成功したと判断できる。

効果的にチームビルディングを行うためのポイント

- ①個人・チームの目標を決める
- ②メンバー一人ひとりの役割を決定する
- ③メンバー同士で協力しあって問題を解決する
- ④価値観を認めあう



委員会運営において必要なこと

委員会運営において必要なこと

**「委員長はプレーヤーではなく、
監督にならなければならない」**

あなたは優秀です。委員長になるくらいですから。
でも 一人で出来る事って、限られてますよね。
自分がやった方が早い。でも それでは大きな事は出来るようになりません。

チームとして取り組みましょう。その結果として皆が成長し、
来年、委員長になる人が出てきたら、あなたと一緒に活動した1年は、
成長の1年だったという事です。

役割分担が重要！

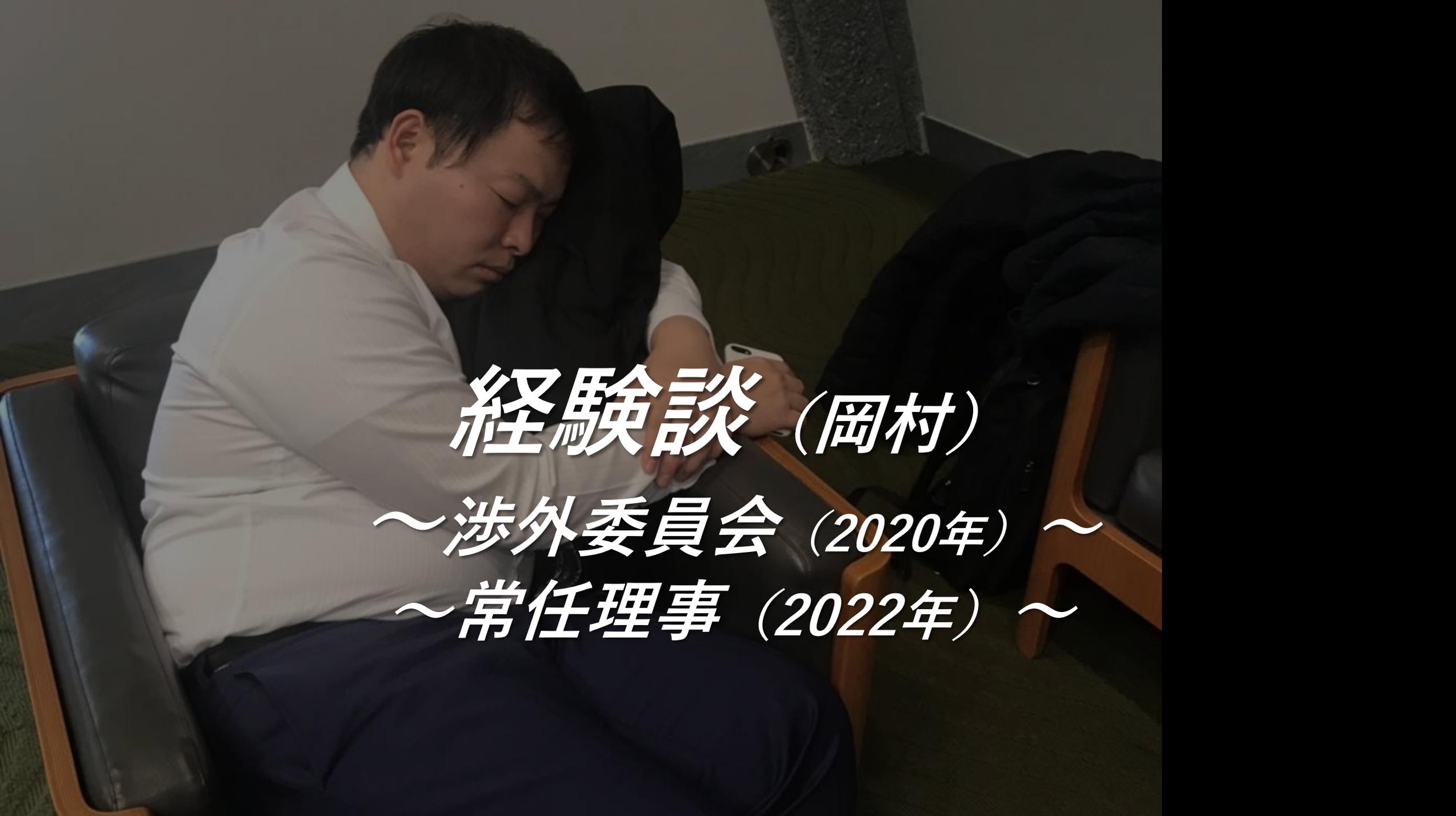
役割分担

副委員長：委員長の補佐。議案作成者も基本的には副委員長になります。共に議案を作り上げる、委員会を盛り上げるといったような、委員長と同じ目線になってもらうことが大事。

運営幹事：委員会の設営準備、進行、出欠確認など、運営全般の責任者です。委員長から出席を促すよりも、運営幹事から積極的に参加を促す働きかけをしてもらいましょう。

書記幹事：委員会の議事録を作成する役割。監査では重要な役割となるので、初期段階から議事録の記入方法やまとめ方などをレクチャーしておくことがベター。

会計幹事：お金の管理。事業・例会で使用する予算の管理や支払いなどの他、懇親会での会費の徴収や支払いなども担当します。

A man in a white shirt is sitting in a dark leather chair, looking down at a smartphone in his hands. The background is a simple room with a green carpet and a grey pillar. The text is overlaid on the image in a white, stylized font.

経験談 (岡村)

～ 渉外委員会 (2020年) ～

～ 常任理事 (2022年) ～

渉外委員会（2020年）

初めて会う人は全員アポイントとって、
手土産持って会いに行きました。

常任理事（2022年）

古株だけど、ずっと来てない。今年卒業の人のところに挨拶にいきました。



経験談 (高子)

～地域創造委員会 (2020年)～

自己紹介（高子景）

1987年 さいたま市生まれ

2013年 さいたま市議会議員選挙 初当選

2015年 埼玉中央青年会議所 入会

2020年 地域創造委員会 委員長

⇒最優秀事業賞 受賞

2021年 日本青年会議所 権限移譲促進委員会 委員

2022年 地域グループ 担当常任理事

⇒最優秀事業賞・最優秀例会賞 受賞

2023年 議案審査会議 副議長

2024年 副理事長予定者

日本青年会議所 国際アカデミー委員会 VC予定者

空白の5年間

地域創造委員会（2020年）

前年度まで幽霊会員

※15入会時の写真



地域創造委員会（2020年）

副委員長、運営幹事以外
ほぼ知らない人...

地域創造委員会（2020年）



グループ会議の出席者
委員長他1名…

1月第1例会出席率最下位…



ここから軌道修正を！



地域創造委員会（2020年）

①コミュニケーションを大切に！



LIVE

地域創造委員会（2020年）

②メンバーに仕事を振る！



地域創造委員会（2020年）

③絶対に事業を実施する！（目標）



JCI SAITAMA-CHUO
AWARD 2020



最優秀事業賞受賞!

効果的にチームビルディングを行うためのポイント

- ①個人・チームの目標を決める
- ②メンバー一人ひとりの役割を決定する
- ③メンバー同士で協力しあって問題を解決する
- ④価値観を認めあう

A top-down view of several hands of different skin tones and ages stacked together in a circle. The hands are positioned in a way that suggests a team huddle or a gesture of unity. The background is dark, making the hands stand out. The Japanese text 'まとめ' is centered over the hands.

まとめ

まとめ

JCは仕事ではありません。JCやってくれることが当然だと思わないで下さい。報酬もない、人間関係も余りない、そんな自分と一緒にどうやったら活動してくれるか考えましょう。

やってくれないのが普通です。なのでやってくれたら、心から感謝しましょう。ちゃんとお礼を言いましょう。

まずは、来年一緒に活動するメンバー全員に会いに行きましょう。

A top-down view of several hands of different people stacked together in a circle. The hands are of various skin tones and are wearing different types of clothing, including sweaters, blouses, and a watch. The background is dark, making the hands stand out. The text is overlaid on the center of the hands.

ご清聴ありがとうございました！